

「あたりまえ」に深さがある
地域の「ための」民謡を一緒に作りませんか？

ぼくらは「カンジャウネ」っていう。
そういうふうによつて地名がある。

「カンジャウネ」や「ナキャシキ」という言葉を知っていますか？
この言葉を聞いて、笑う人や恥ずかしがる人がいます。地域固有の言葉には地域ならではの喜びや記憶があります。わたしたちは、この「地域を地域たらしめる言葉（たらしめことば）」を紡いで、地域の「ための」新しい民謡づくりを実施したいと思います。

事前登録不要
参加費無料

第1回

場所 ふるさと館 10:00～17:00

2018年 8月27日(月)～8月28日(火)

第2回

場所 NPO法人ぬた守る会事務所(旧公民館) 10:00～17:00

2018年 12月13日(木)～12月15日(土)

主催：総合地球環境学研究所 地域の「ための」民謡づくりー「たらしめことば」の語りとアートの実践

共催：NPO法人ぬた守る会、高知大学

後援：  平成30年度第68回高知県芸術助成事業
「KOCHI ART PROJECTS 2018」

作る人（講師・アーティスト）



にしもとひろこ

空気にただよぶ色をなぞるように、独特な声色で紡いだ音を歌う。アコースティックデュオ「たゆたう」のほか、2014年『友達』、2017年『サイイドマングローブ』などでそれぞれ音楽を担当。また、高松市塩江美術館で個展を開催するなど、美術家の側面も持つ。



山口恵子

俳優・演出。ロンドンでパフォーマンス/演劇を三年間学ぶ。主な出演作品にマレピトの会「ヒロシマ-ハプチョン」松本雄吉演出「十九歳のジェイコブ」「レミング」。2011年京都を拠点に「BRDG」を結成。演出作品として「ヒキダシホテル」「whole」などがある。



川那辺 香乃

2013年より、京丹波町にある旧質美小学校で「423アートプロジェクト」を開始。ワークショップや映画製作、舞台作品の創作など企画・実施している。また、子どもや障害者、高齢者を対象としたアートワークショップのコーディネーターも行う。アートと社会をつなぐ人として日々実践中。

聞きたい人（研究者）



市川昌広

高知大学地域協働学部教授。東南アジア（おもにマレーシア）や高知県の農山村を取り巻く社会（森林・農業政策、都市の拡大、地域開発、環境問題など）が人々の暮らしに与える影響について研究。



石山 俊

国立民族学博物館プロジェクト研究員。NGOによる砂漠化対処活動現地駐在員としてアフリカ、チャドで4年間を過ごす。農業を中心とした生業活動とその現代の変容をテーマにしたフィールドワークと研究を開始。福井県中山間地への移住経験をきっかけに、「篤農家」の研究にも着手した。



三村 豊

総合地球環境学研究所センター研究員。都市の中の「隠された知恵」を古地図や地理情報をもとに明らかにする研究を行っている。2016年より怒田での研究活動を開始。地域のための活動を模索し、さまざまな方の助言をまとめ、民謡づくりを企画する。

伝えたい人（地域協力者）



氏原 学

高知県長岡郡大豊町怒田集落出身。高知大学の事務職を退職後、ふるさとの怒田にUターンする。学生の授業や研究のフィールドとして怒田の地域再生に取り組む。



田畑 勇太

限界集落発祥の地、高知県大豊町に4年前にUターン。現在、妻と息子と三人で暮らし、農業を営んでいる。2017年2月に集落を持続させることを目的としたNPO「めたく守る会」を発足させる。



他にも多数の協力者！

怒田集落とご縁のある方が協力します。高知大学の学生さん、もしかすると「おばけ」も飛び入りで参加するかも！？

地域の「ための」民謡づくり

思い出や誇りを共感して、素晴らしい民謡を一緒に作りましょう！ぜひ、お気軽に参加ください！



① 集合



② 本日のお題



③ 聞き書き



④ むら歩き



⑤ 作詞・作曲

1日目

- 10:00 開会
趣旨説明、お題の確認
グループ決め
- 12:00 昼食
- 13:00 聞き書き / グループワーク
- 17:00 閉会

2日目

- 10:00 開会
グループワーク
- 12:00 昼食
- 13:00 意見交換
- 15:00 むら歩き、作詞
作曲（予定）
- 17:00 閉会

こんなことを教えてください

- ・子供のときに遊んだ思い出
- ・暮らしの知恵（農業、狩猟など）
- ・未来に残したいこと / 伝えたいこと
- ・地名や屋号
- ・地域の誇り
- ・出合いやつながり
- ・おじいちゃんの格言、教え
- ・残したい風景や食文化
- ・暮らしの辛さ
- ・怒田らしさ

※当日の状況で適宜変更いたします。

怒田集落のみなさまへのお願い

わたしたちは、みなさまの思い出や地域についてをお話を伺いたいと思います。もし、**集落の写真**をお持ちでしたら何でも結構ですので、ご持参ください。

ご家族での参加を歓迎！

普段は恥ずかしくて聞けない / 言えない家族の歴史を子供たちに伝えませんか？

問い合わせ

三村豊 / みむらゆたか
(Email: mimura@chikyu.ac.jp)

場所：ふるさと館

